

第 12 回「金持ち企業ランキング」調査

2023 年9月

あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第 12 回「金持ち企業ランキング」調査

2. 調査方法

決算書の分析結果に基づく調査

3. 調査対象決算期

2023 年7月1日時点で開示されていた 2022 年4月期決算以降の最新決算

4. 調査対象企業

金融機関(銀行、証券会社、保険会社等)を除く、決算短信提出企業

5. 調査対象企業数

3,192 社

1. 調査結果

[1]「金持ち企業ランキング」／ランキング結果

上場企業の決算短信(金融機関除く)の記載に基づき NetCash(※)を算出した結果、「金持ち企業ランキング」の1位は「信越化学工業」(NetCash1兆 4,198 億円)であった。次いで「任天堂」が2位(同1兆 2,637 億円)、「ファーストリテイリング」が3位(同 9,080 億円)となり、以下「リクルートホールディングス」(同 8,421 億円)、「SUBARU」(同 6,669 億円)、「SMC」(同 5,914 億円)、「ファナック」(同 5,125 億円)と続いた。

「信越化学工業」は、2023 年3月期決算における大幅増収増益によって NetCash が増加した結果、2018 年実施の第6回調査以来の1位となった。上位 20 社にランクインした企業のうち 14 社において、前回調査よりも NetCash が増加しており、2社(信越化学工業、任天堂)が1兆円の大台を超えた。

前回順位との比較においては、「東京エレクトロン」(前回 20 位→今回9位)や「日揮ホールディングス」(同 33 位→同 19 位)のランクアップが目立った。「日揮ホールディングス」は、前期の赤字から 300 億円の黒字に回復し、多額の Cash を獲得したことで上位進出となった。(図表A)

なお、トップ 100 については、図表Bにまとめた。

※日本会計基準：

$$\text{NetCash} = \text{現預金} - (\text{短期借入金} + \text{長期借入金} + \text{社債} + \text{一年以内返済の長期借入金} + \text{一年以内償還の社債} + \text{割引手形})$$

国際財務報告基準：

$$\text{NetCash} = \textcircled{1} \text{現預金} - \text{有利子負債} \text{ または、} \\ \textcircled{2} \text{現預金} - (\text{借入金} + \text{社債} + \text{割引手形}) \text{ または、} \\ \textcircled{3} \text{現預金} - (\text{短期借入金} + \text{長期借入金} + \text{社債} + \text{一年以内返済の長期借入金} + \text{一年以内償還の社債} + \text{割引手形})$$

のいずれかで算出。

[2]「金持ち企業ランキング」／ランキング上位企業分析

金持ち企業ランキング上位 20 社の「現預金」、「有利子負債」、「営業キャッシュフロー」について、それぞれ集計したところ、現預金では、「信越化学工業」、「任天堂」、「ファーストリテイリング」、「リクルートホールディングス」、「SUBARU」、が上位となった。

有利子負債においては、「任天堂」、「ファナック」、「東京エレクトロン」、「キーエンス」、「ネクソン」、「塩野義製薬」の6社が0円となり、営業キャッシュフローでは、「信越化学工業」、「SUBARU」、「リクルートホールディングス」、「ファーストリテイリング」、「東京エレクトロン」が上位となった。有利子負債 1,000 億円超の企業は4社のみとなっており、多額の現預金を有するだけでなく、有利子負債の少なさが金持ち企業ランキング上位の要因となっている。(図表C)

[3]「金持ち企業ランキング」／現預金ランキング

現預金額のみで集計を行ったところ、ランキング1位は「トヨタ自動車」となり、以下2位「ソフトバンクグループ」、3位「楽天グループ」、4位「本田技研工業」、5位「ソフトバンク」の順となった。

金持ち企業ランキング上位企業と現預金ランキング上位企業を比較したところ、両方にランクインしているのは、「信越化学工業」、「ファーストリテイリング」、「任天堂」、「SUBARU」、「リクルートホールディングス」の5社のみであり、現預金ランキングの上位 10 社に金持ち企業ランキングの上位企業はランクインしていないことが分かった。(図表 D)

[4]「金持ち企業ランキング」／有利子負債ランキング

有利子負債の多寡について集計を行ったところ、1位は「トヨタ自動車」となり、以下2位「ソフトバンクグループ」、3位「日本電信電話」、4位「本田技研工業」、5位「三菱 HC キャピタル」の順となった。(図表 E)

[5]「金持ち企業ランキング」／営業キャッシュフローランキング

営業キャッシュフローについて集計を行ったところ、1位は「トヨタ自動車」となり、以下2位「日本電信電話」、3位「本田技研工業」、4位「三菱商事」、5位「日産自動車」の順となった。

現預金、有利子負債、営業キャッシュフローの3つのランキングすべてにランクインしているのは8社あり、これらの企業は借入により調達した多額の資金を事業へ投資することで新たな Cash を創出し、現預金の積み上げに繋げている企業が多いといえる。

他方、金持ち企業ランキング上位企業と営業キャッシュフローランキング上位企業を比較したところ、両方にランクインしているのは、「信越化学工業」の1社のみとなった。(図表 F)

[6]「金持ち企業ランキング」／NetCash、現預金、有利子負債増減

NetCash の増減について集計を行ったところ、調査対象 3,192 社のうち、50.6%の企業において NetCash が減少しており、前回調査(39.3%)から 11.3 ポイント増加した。また、ランキング上位 100 社においても、NetCash が減少した企業は 43.0%となっており、前回調査(21.0%)から 22.0 ポイント増加した。

現預金の増減について集計を行ったところ、3,192 社のうち、1,722 社(53.9%)において現預金が増加しており、現預金が減少した企業は半数以下に留まった。2023 年3月期決算における上場企業の純利益合計は、2期連続で最高益を更新しており、好調な業績推移に伴って現預金が増加したとみられる。他方、有利子負債の増減について集計を行ったところ、3,192 社のうち、1,847 社(57.8%)において有利子負債が増加していることが明らかとなった。(図表 G)

[7]「金持ち企業ランキング」／株主還元強化

前回ランキング上位 100 社に対し、現預金の増減と株主還元策の関係について調査したところ、自社株買いおよび増配などの株主還元策を実施している企業は、100 社中 89 社(89%)であった。2022 年における上場企業の自社株買いは、過去最高の9兆 3,900 億円を計上していることから、利益の株主還元が進んだことも NetCash が減少した一因であるといえよう。(図表 H)

2. 総評

第 12 回金持ち企業ランキングは、第8回から第 11 回まで4回連続2位であった「信越化学工業」が第6回調査以来の1位を獲得した。

本ランキングの上位企業においては、多額の現預金を保有している点や、有利子負債が手元の現預金で返済可能な範囲に留まっている点が、その特徴として挙げられる。また、多くの企業において事業拡大の方法として、借入により手元の現預金を増やす(財務レバレッジを効かせる)ことで、本来の体力よりも大きな投資を行い、それによってより多くの利益を獲得する方法が採られている中、本ランキング上位企業は、有利子負債が少ない状態ながら、20 社すべてにおいて営業キャッシュフローを創出できている。

その中で、今回1位となった「信越化学工業」は、全体の現預金ランキング(1兆 4,198 億円)で 11 位に位置するほど多くの現預金を保有しながら、有利子負債は現預金に対して2%程度(298 億円)の水準に留まっており、その上で営業キャッシュフローランキングにおいても 15 位にランクインしているなど、保有している現預金を効率的に運用し、新たな現預金を創出しているという点で際立っているといえる。

今回の調査結果において、前回まで増加傾向にあった NetCash が減少傾向に転じた点については、前回調査時点で「企業業績は好調だが、事業環境が不透明であるため NetCash を積み増そう」と考えていた企業のうちの一部が、今回調査では、コロナ禍の終息などにより事業環境が好転するという見込みから、「設備投資や株主還元を進めたことで NetCash が減少した」という動きに転じたものと想定される。

企業が一定の現預金水準を保ちながら、営業キャッシュフローの中で新たな事業展開を推し進めていくという手法は、企業の安全性を高め安定的な事業運営を進めていく意味では重要な考え方と言える。しかし、他方で、企業が事業の成長を促進するために、有利子負債などの他人資本を用いて、積極的に投資を行っていくという手法は、経済全体における資金循環量の増加につながり、景気の底上げに寄与する取組みでもあるため、今回の調査結果における NetCash の減少傾向は、決して悪い傾向ではないと考えられる。

「Cash is King」という言葉があるように、現金の保有は企業経営において最も重要な要素ではあるが、企業や経済の成長のためには、カネを循環させるという考え方もまた非常に重要である。その観点で、本ランキングの上位企業には、自社の安定と成長のバランスを取りながらも、日本経済への積極的な貢献も期待したい。

図表A 第12回「金持ち企業ランキング」/ランキングトップ20

順位	前回 順位	企業名	都道府県	業種	Net Cash	前回 Net Cash
1	2	信越化学工業	東京都	化学工業	1兆4,198億円	1兆824億円
2	1	任天堂	京都府	娯楽用品・玩具製造業	1兆2,637億円	1兆2,065億円
3	3	ファーストリテイリング	東京都	織物・衣服・身の回り品小売業	9,080億円	7,020億円
4	5	リクルートホールディングス	東京都	職業紹介・労働者派遣業	8,421億円	6,089億円
5	6	SUBARU	東京都	自動車製造業	6,669億円	5,490億円
6	4	SMC	東京都	はん用機械器具製造業	5,914億円	6,733億円
7	10	ファナック	山梨県	生産用機械器具製造業	5,125億円	4,235億円
8	8	セコム	東京都	セキュリティサービス業	4,775億円	4,747億円
9	20	東京エレクトロン	東京都	生産用機械器具製造業	4,731億円	2,743億円
10	9	キーエンス	大阪府	電子部品・デバイス・電子回路製造業	4,337億円	4,643億円
11	14	シマノ	大阪府	自動車製造業	4,283億円	3,614億円
12	12	ネクソン	東京都	情報提供サービス業	4,094億円	3,652億円
13	21	HOYA	東京都	精密機械製造業	3,813億円	3,978億円
14	18	大塚ホールディングス	東京都	医療関連事業	3,514億円	2,751億円
15	13	日東電工	大阪府	電子部品・デバイス・電子回路製造業	3,297億円	3,618億円
16	24	協和キリン	東京都	医薬品製剤製造業	3,159億円	2,645億円
17	27	塩野義製薬	大阪府	医薬品製造業	3,092億円	2,544億円
18	7	第一三共	東京都	医薬品製剤製造業	2,988億円	4,990億円
19	33	日揮ホールディングス	神奈川県	総合エンジニアリング業	2,962億円	2,158億円
20	16	小糸製作所	東京都	電気機械器具製造業	2,924億円	2,989億円

図表B 第12回「金持ち企業ランキング」/ランキングトップ100

順位	企業名	Net Cash	順位	企業名	Net Cash
1	信越化学工業	1兆4,198億円	51	コナミホールディングス	1,594億円
2	任天堂	1兆2,637億円	52	大林組	1,582億円
3	ファーストリテイリング	9,080億円	53	島津製作所	1,573億円
4	リクルートホールディングス	8,421億円	54	オービック	1,563億円
5	SUBARU	6,669億円	55	リンナイ	1,509億円
6	SMC	5,914億円	56	富士通	1,447億円
7	ファナック	5,125億円	57	エーザイ	1,412億円
8	セコム	4,775億円	58	花王	1,404億円
9	東京エレクトロン	4,731億円	59	エービーシー・マート	1,330億円
10	キーエンス	4,337億円	60	テイ・エステック	1,329億円
11	シマノ	4,283億円	61	メルカリ	1,301億円
12	ネクソン	4,094億円	62	セガサミーホールディングス	1,275億円
13	HOYA	3,813億円	63	ガンホー・オンライン・エンターテイメント	1,255億円
14	大塚ホールディングス	3,514億円	64	東洋水産	1,236億円
15	日東電工	3,297億円	65	東建コーポレーション	1,235億円
16	協和キリン	3,159億円	66	久光製薬	1,209億円
17	塩野義製薬	3,092億円	67	ミスミグループ本社	1,196億円
18	第一三共	2,988億円	68	エムスリー	1,183億円
19	日揮ホールディングス	2,962億円	69	コーセー	1,152億円
20	小糸製作所	2,924億円	70	浜松ホトニクス	1,145億円
21	バンダイナムコホールディングス	2,695億円	71	MIXI	1,111億円
22	大正製薬ホールディングス	2,560億円	72	SUMCO	1,095億円
23	ローム	2,508億円	73	スズケン	1,090億円
24	三菱電機	2,451億円	74	オムロン	1,051億円
25	京セラ	2,367億円	75	SGホールディングス	1,025億円
26	ホシザキ	2,261億円	76	ヤマハ	1,024億円
27	ローソン	2,234億円	77	KADOKAWA	1,020億円
28	中外製薬	2,222億円	78	日鉄ソリューションズ	1,013億円
29	大成建設	2,144億円	79	大日本印刷	1,010億円
30	凸版印刷	2,079億円	80	マブチモーター	1,005億円
31	村田製作所	2,071億円	81	ライオン	995億円
32	大塚商会	1,962億円	82	エスケー化研	965億円
33	三菱自動車工業	1,960億円	83	小林製薬	962億円
34	アステラス製薬	1,959億円	84	小野薬品工業	961億円
35	メディパルホールディングス	1,950億円	85	ナブテスコ	952億円
36	スズキ	1,946億円	86	カプコン	943億円
37	スクウェア・エニックス・ホールディングス	1,935億円	87	トヨタ紡織	940億円
38	トレンドマイクロ	1,915億円	88	アマダ	932億円
39	石油資源開発	1,914億円	89	三共	926億円
40	ユニ・チャーム	1,901億円	90	伊藤忠テクノソリューションズ	925億円
41	しまむら	1,862億円	91	三谷商事	917億円
42	ヤクルト本社	1,776億円	92	江崎グリコ	917億円
43	大東建託	1,762億円	93	ダイフク	913億円
44	ヤマトホールディングス	1,754億円	94	ユー・エス・エス	903億円
45	SCREENホールディングス	1,652億円	95	SCSK	897億円
46	スタンレー電気	1,634億円	96	ヒロセ電機	880億円
47	ディスコ	1,631億円	97	日油	880億円
48	大和工業	1,624億円	98	ビー・エム・エル	865億円
49	アルフレッサホールディングス	1,601億円	99	新光電気工業	863億円
50	サイバーエージェント	1,598億円	100	キヤノンマーケティングジャパン	841億円

図表C 第12回「金持ち企業ランキング」/ランキング上位企業分析①

順位	企業名	現預金	有利子負債	営業キャッシュフロー
1	信越化学工業	1兆4,496億円	298億円	7,880億円
2	任天堂	1兆2,637億円	0円	3,228億円
3	ファーストリテイリング	1兆3,583億円	4,503億円	4,308億円
4	リクルートホールディングス	8,774億円	353億円	4,382億円
5	SUBARU	9,795億円	3,126億円	5,038億円
6	SMC	6,036億円	122億円	1,016億円
7	ファナック	5,125億円	0円	995億円
8	セコム	5,224億円	449億円	1,464億円
9	東京エレクトロン	4,731億円	0円	4,263億円
10	キーエンス	4,337億円	0円	3,026億円
11	シマノ	4,304億円	22億円	1,107億円
12	ネクソン	4,094億円	0円	1,301億円
13	HOYA	4,059億円	246億円	2,018億円
14	大塚ホールディングス	4,716億円	1,202億円	2,118億円
15	日東電工	3,300億円	3億円	1,817億円
16	協和キリン	3,392億円	233億円	487億円
17	塩野義製薬	3,092億円	0円	1,555億円
18	第一三共	4,419億円	1,431億円	1,145億円
19	日揮ホールディングス	3,330億円	368億円	1,108億円
20	小糸製作所	3,150億円	226億円	598億円

※背景色ありは、「現預金」が多い上位5社、「有利子負債」が少ない上位6社、「営業キャッシュフロー」が多い上位5社

図表D 第12回「金持ち企業ランキング」/現預金ランキング

順位	企業名	業種	現預金
1	トヨタ自動車	自動車製造業	7兆5,170億円
2	ソフトバンクグループ	通信業	6兆9,252億円
3	楽天グループ	インターネット附随サービス業	4兆6,944億円
4	本田技研工業	自動車製造業	3兆8,030億円
5	ソフトバンク	通信業	2兆592億円
6	日産自動車	自動車製造業	1兆7,985億円
7	セブン&アイ・ホールディングス	各種商品小売業	1兆6,709億円
8	Zホールディングス	インターネット附随サービス業	1兆6,519億円
9	三菱商事	各種製品卸売業	1兆5,570億円
10	ソニーグループ	技術サービス業	1兆4,809億円
11	信越化学工業	化学工業	1兆4,496億円
12	三井物産	各種商品卸売業	1兆3,901億円
13	ファーストリテイリング	織物・衣服・身の回り品小売業	1兆3,583億円
14	イオン	各種商品小売業	1兆3,097億円
15	任天堂	娯楽用品・玩具製造業	1兆2,637億円
16	オリックス	物品賃貸業	1兆2,319億円
17	SUBARU	自動車製造業	1兆1,239億円
18	スズキ	自動車製造業	9,795億円
19	リクルートホールディングス	職業紹介・労働者派遣業	9,585億円
20	日本たばこ産業	たばこ製造業	8,774億円

背景色ありは図表Aのランキング上位企業

図表E 第12回「金持ち企業ランキング」/有利子負債ランキング

順位	企業名	業種	有利子負債
1	トヨタ自動車	自動車製造業	29兆3,803億円
2	ソフトバンクグループ	通信業	19兆4,782億円
3	日本電信電話	通信業	8兆2,305億円
4	本田技研工業	自動車製造業	7兆6,652億円
5	三菱HCキャピタル	物品賃貸業	7兆6,318億円
6	日産自動車	自動車製造業	6兆9,029億円
7	ソフトバンク	通信業	6兆1,345億円
8	オリックス	物品賃貸業	5兆7,185億円
9	東京電力ホールディングス	電気小売業	5兆1,634億円
10	三井物産	各種商品卸売業	5兆406億円
11	楽天グループ	インターネット附随サービス業	4兆9,128億円
12	三菱商事	各種製品卸売業	4兆8,899億円
13	関西電力	電気小売業	4兆4,953億円
14	東京センチュリー	物品賃貸業	4兆4,889億円
15	東日本旅客鉄道	鉄道業	4兆4,598億円
16	武田薬品工業	化学工業	4兆3,823億円
17	ソニーグループ	技術サービス業	3兆8,706億円
18	住友不動産	不動産賃貸業	3兆6,461億円
19	九州電力	電気業	3兆5,584億円
20	三井不動産	不動産賃貸業	3兆3,717億円

背景色ありは図表Dのランキング上位企業

図表F 第12回「金持ち企業ランキング」/営業キャッシュフローランキング

順位	企業名	業種	営業キャッシュフロー
1	トヨタ自動車	自動車製造業	2兆9,551億円
2	日本電信電話	通信業	2兆2,610億円
3	本田技研工業	自動車製造業	2兆1,290億円
4	三菱商事	各種商品卸売業	1兆9,301億円
5	日産自動車	自動車製造業	1兆2,211億円
6	ソフトバンク	通信業	1兆1,558億円
7	KDDI	通信業	1兆789億円
8	三井物産	各種商品卸売業	1兆475億円
9	武田薬品工業	化学工業	9,772億円
10	伊藤忠商事	各種商品卸売業	9,381億円
11	セブン&アイ・ホールディングス	各種商品小売業	9,285億円
12	オリックス	物品賃貸業	9,131億円
13	日立製作所	電気機械器具製造業	8,270億円
14	日本郵船	外航海運業	8,249億円
15	信越化学工業	化学工業	7,880億円
16	INPEX	石油卸売業	7,513億円
17	ソフトバンクグループ	通信業	7,413億円
18	日本製鉄	鉄鋼業	6,613億円
19	丸紅	各種商品卸売業	6,063億円
20	デンソー	自動車部分品製造業	6,027億円

背景色ありは現預金、有利子負債、営業キャッシュフローにすべてランクインした企業

図表G 第12回「金持ち企業ランキング」／NetCash、現預金、有利子負債増減

		全体		ランキングトップ100		前回ランキングトップ100	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合
NetCash増減(今回)	増加	1,577	49.4%	57	57.0%	42	42.0%
	減少	1,617	50.6%	43	43.0%	58	58.0%
NetCash増減(前回)	増加	1,920	60.1%	79	79.0%	76	76.0%
	減少	1,254	39.3%	21	21.0%	24	24.0%
現預金増減	増加	1,722	53.9%	56	56.0%	43	43.0%
	変化なし	1	0.0%	1	1.0%	1	1.0%
	減少	1,471	46.1%	43	43.0%	56	56.0%
有利子負債増減	増加	1,847	57.8%	20	20.0%	23	23.0%
	変化なし	125	3.9%	33	33.0%	31	31.0%
	減少	1,222	38.3%	47	47.0%	46	46.0%

背景色ありは、最多1項目

図表H 第12回「金持ち企業ランキング」／株主還元の強化

単位(社)

		株主還元の強化		
		実施	未実施	小計
今期Net Cash 増減	増加	38	4	42
	減少	51	7	58
	小計	89	11	100